

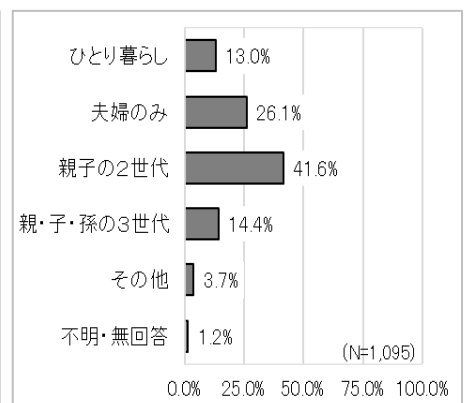
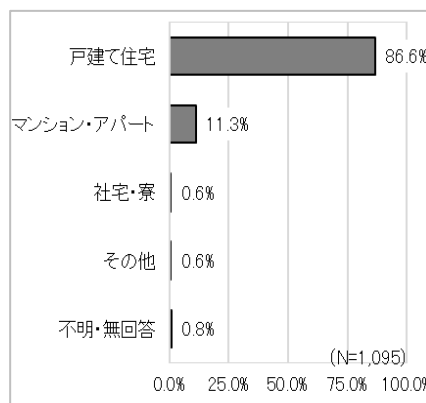
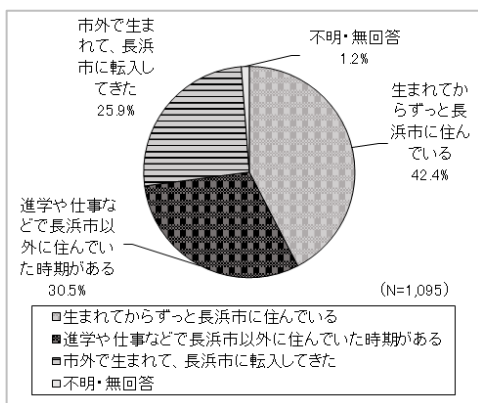
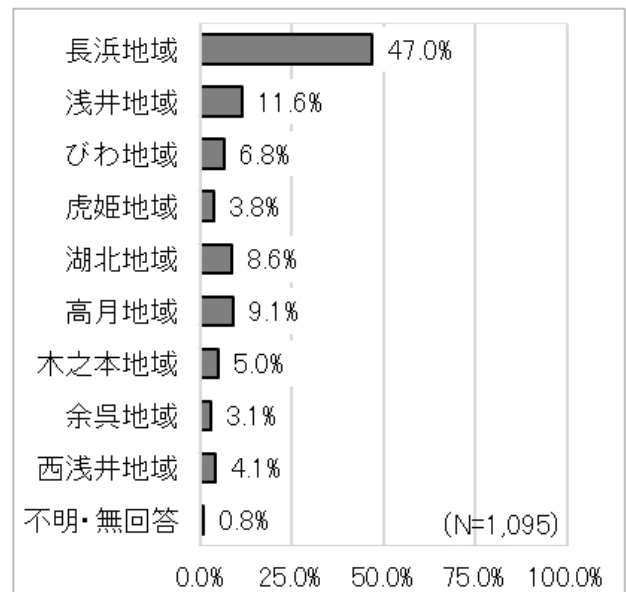
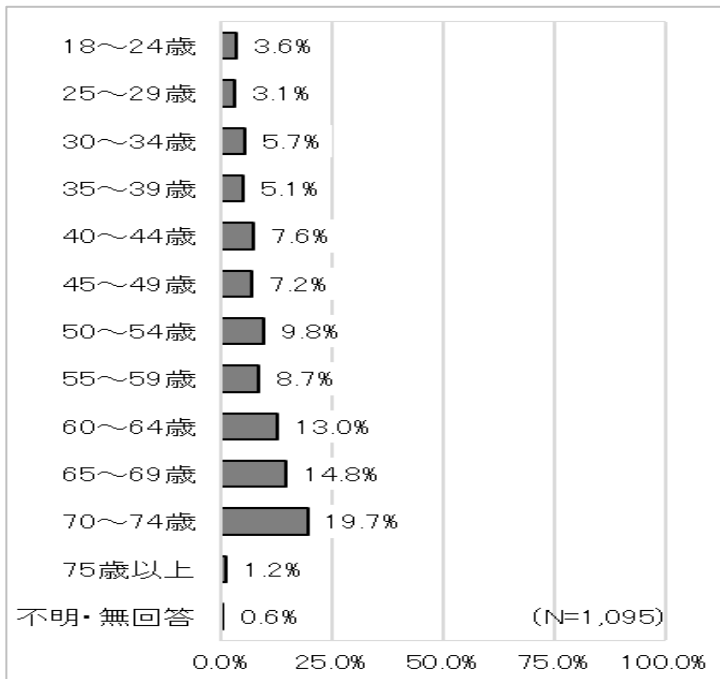
令和4年度 長浜市民意識調査 報告書（概要版）

長浜市では、市が行っている様々な取組について市民の皆さまに「満足度」や「重要度」をおたずねするとともに、社会が変わっていく中で、長浜市がこれから進むべき方向についてのお考えをお聞きし、今後の取組を考える上での基礎とすることを目的に、市民意識調査を実施しております。

令和4年度は、調査項目として「長浜市の住みやすさ」と「今後進めていくべき取組」、及び「市が行っている58施策の満足度と重要度」、「市からの情報発信」、「選挙における投票場所」、「スポーツについて」について18歳以上の市内居住者3,000人を対象に調査しました。

■調査の概要

- ・調査対象：市内に居住する18歳以上の方3,000人
- ・抽出方法：住民基本台帳から各地域の人口割合に応じて無作為抽出
- ・調査方法：郵送によるアンケートの配布、郵送またはインターネットでの回収
- ・調査時期：令和4年4月25日～5月9日
- ・回収結果：有効回収数1,095件（回収率36.5%）内、インターネット回答149件
- ・回答者属性：男性41.6% 女性55.9% 答えたくない1.2% 不明・無回答1.3%



調査結果のポイント

調査項目①

住みやすさ

長浜市の住みやすさについて、住み心地がよいと思う人は約9割でした

- 長浜市の「住み心地」について、よいと思う(「とてもよいと思う」と「よいと思う」の合計)と回答した人は約9割(88.4%)となり、昨年度よりは減少したものの高い水準を維持しています。また、長浜市での居住継続希望の有無について、「住み続けたい」(「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計)と回答した人も約9割(86.6%)となりました。

● 長浜市の「住み心地」についてどう思いますか

	令和4年度	令和2年度
とてもよいと思う	8.9%	12.6%
よいと思う	79.5%	77.7%
悪いと思う	10.7%	9.2%
とても悪いと思う	0.9%	0.5%
よいと思う(計) <small>「とてもよいと思う」「よいと思う」の合計</small>	88.4%	90.3%
悪いと思う(計) <small>「悪いと思う」「とても悪いと思う」の合計</small>	11.6%	9.7%

令和4年度調査結果(N=1,086)

令和2年度調査結果(N=1,296)

● 長浜市にこれからも住み続けたいと思いますか

	令和4年度	令和2年度
住み続けたい	42.5%	46.0%
どちらかといえば住み続けたい	44.1%	42.6%
県内の他市町に転居したい	6.2%	4.8%
県外に転居したい	7.3%	6.6%
住み続けたい(計)	86.6%	88.6%
転居したい(計)	13.4%	9.1%

令和4年度調査結果(N=1,086)

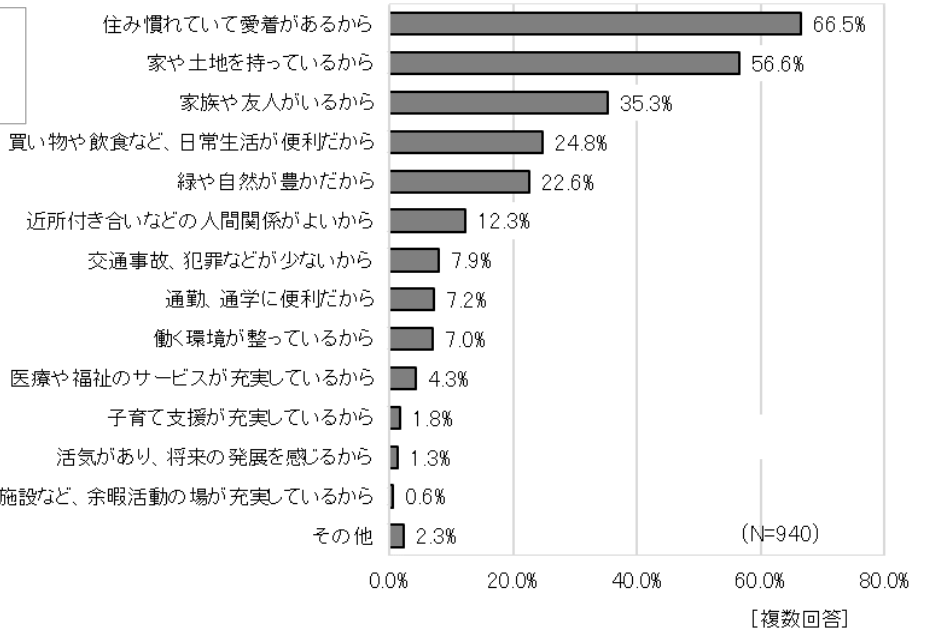
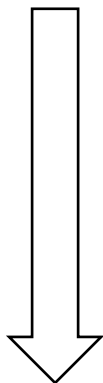
令和2年度調査結果(N=1,296)

住み心地が「よいと思う」と答えた方の選んだ理由

年齢階層別

塗りつぶし部分は各年齢の上位4項目

- 1位 (オレンジ)
- 2位 (黄色)
- 3位 (緑)
- 4位 (青)



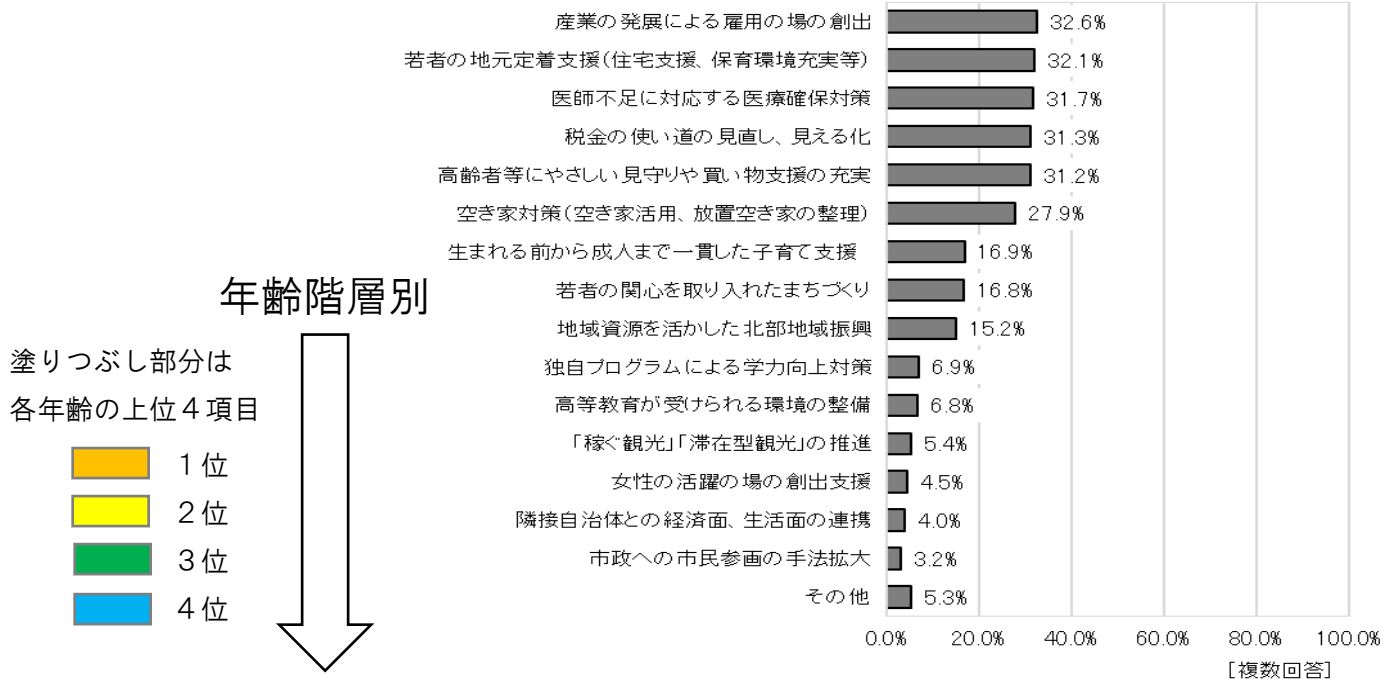
年齢別	年齢	構成比(%)													
		住み慣れていて愛着があるから	家や土地を持っているから	家族や友人がいるから	買い物や飲食など、日常生活が便利だから	緑や自然が豊かだから	近所付き合いなどの人間関係がよから	通勤、通学に便利だから	働く環境が整っているから	交通事故、犯罪などが少ないから	医療や福祉のサービスが充実しているから	子育て支援が充実しているから	活気があり、将来の発展を感じるから	文化やスポーツ施設など、余暇活動の場が充実しているから	その他
年齢別	18~24歳	22.4	6.9	25.9	15.5	13.8	6.9	1.7	1.7	0.0	0.0	3.4	1.7	0.0	0.0
	25~29歳	24.7	15.1	23.3	13.7	4.1	5.5	6.8	1.4	0.0	2.7	1.4	1.4	0.0	0.0
	30~34歳	25.5	24.5	11.2	12.2	4.1	1.0	6.1	5.1	2.0	1.0	5.1	1.0	0.0	1.0
	35~39歳	21.7	18.3	17.5	12.5	8.3	2.5	6.7	5.0	1.7	1.7	2.5	0.0	0.0	1.7
	40~44歳	25.7	22.9	15.4	8.6	6.9	3.4	6.9	9.1	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	45~49歳	25.9	23.5	15.4	11.7	4.9	3.1	4.3	3.1	3.1	2.5	0.6	0.6	0.0	1.2
	50~54歳	25.5	24.0	14.7	7.4	7.8	3.4	3.4	3.9	5.9	1.5	0.5	1.0	0.5	0.5
	55~59歳	25.4	22.4	14.9	10.0	11.9	3.0	4.0	2.5	2.0	2.5	0.0	0.5	0.0	1.0
	60~64歳	27.4	25.6	14.5	8.1	7.8	6.9	1.2	2.4	2.4	0.9	0.6	0.3	0.3	1.5
	65~69歳	27.8	24.0	11.6	9.7	11.9	3.8	1.3	1.6	4.3	2.4	0.0	0.5	0.0	1.1
70~74歳	28.4	22.5	11.3	10.6	10.0	7.3	1.0	1.0	3.8	1.9	0.4	0.4	0.8	0.8	
75歳以上	33.3	25.9	11.1	0.0	14.8	7.4	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	

調査項目②
今後進めていくべき取組

長浜市で今後進めていくべき取組について、最も意見が多かったのは、「産業の発展による雇用の場の創出」でした

- 長浜市の「今後進めていくべき取組」について、最も意見が多かったのは「産業の発展による雇用の場の創出」(32.6%)となりましたが、30%以上の意見を獲得した取組が他に3件あり、意見が割れる結果となりました。

●特に進めていくべきと思うもの			
産業の発展による雇用の場の創出	32.6%	地域資源を活かした北部地域振興	15.2%
若者の地元定着支援(住宅支援、保育環境充実等)	32.1%	独自プログラムによる学力向上対策	6.9%
医師不足に対応する医療確保対策	31.7%	高等教育が受けられる環境の整備	6.8%
税金の使い道の見直し、見える化	31.3%	「稼ぐ観光」「滞在型観光」の推進	5.4%
高齢者等にやさしい見守りや買い物支援の充実	31.2%	女性の活躍の場の創出支援	4.5%
空き家対策(空き家活用、放置空き家の整理)	27.9%	隣接自治体との経済面、生活面の連携	4.0%
生まれる前から成人まで一貫した子育て支援	16.9%	市政への市民参画の手法拡大	3.2%
若者の関心を取り入れたまちづくり	16.8%	その他	5.3%



年齢階層別

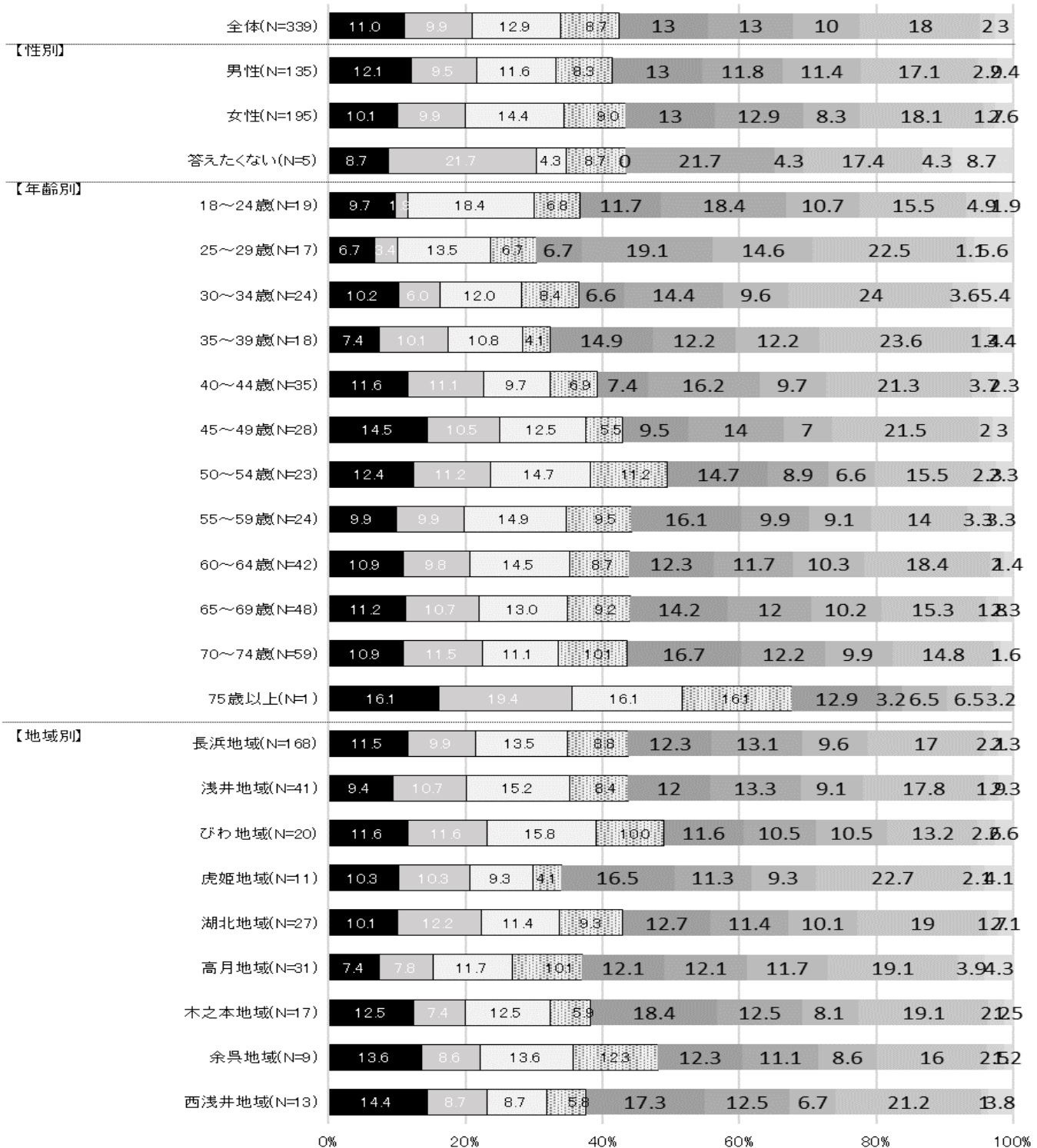
塗りつぶし部分は
各年齢の上位4項目

- 1位
- 2位
- 3位
- 4位

年齢別	構成比(%)																
	産業の発展による雇用の場の創出	若者の地元定着支援(住宅支援、保育環境充実等)	医師不足に対応する医療確保対策	税金の使い道の見直し、見える化	高齢者等にやさしい見守りや買い物支援の充実	空き家対策(空き家活用、放置空き家の整理)	生まれる前から成人まで一貫した子育て支援	若者の関心を取り入れたまちづくり	地域資源を活かした北部地域振興	独自プログラムによる学力向上対策	高等教育が受けられる環境の整備	「稼ぐ観光」「滞在型観光」の推進	女性の活躍の場の創出支援	隣接自治体との経済面、生活面の連携	市政への市民参画の手法拡大	その他	
18~24歳	9.2	17.3	4.1	18.4	3.1	9.2	10.2	12.2	5.1	0.0	2.0	3.1	3.1	1.0	1.0	1.0	
25~29歳	11.1	15.6	13.3	12.2	3.3	10.0	16.7	7.8	0.0	2.2	1.1	2.2	0.0	0.0	2.2	2.2	
30~34歳	8.0	13.1	12.6	11.4	4.6	4.6	14.9	6.9	5.1	4.0	5.1	2.9	2.9	1.7	0.6	1.7	
35~39歳	5.9	13.2	12.5	8.6	3.9	6.6	15.8	5.3	6.6	5.9	5.9	3.3	2.0	1.3	0.7	2.6	
40~44歳	9.0	9.4	11.7	14.3	7.2	8.5	13.9	4.5	4.9	4.9	4.0	2.7	1.8	2.2	0.4	0.4	
45~49歳	10.8	10.8	8.9	13.6	10.3	7.5	8.0	10.8	4.2	1.9	2.8	2.3	0.9	3.8	0.9	2.3	
50~54歳	14.0	10.6	15.1	11.3	12.3	8.9	3.1	5.1	6.5	2.4	2.4	2.4	1.4	1.4	1.4	1.7	
55~59歳	13.4	10.0	9.6	13.0	11.5	15.3	1.9	5.4	7.7	1.5	1.5	2.7	2.3	0.4	1.5	2.3	
60~64歳	16.0	13.9	13.1	9.8	11.3	10.6	4.4	5.4	4.6	2.3	1.5	0.5	1.5	1.3	0.8	2.8	
65~69歳	13.4	10.7	11.4	10.7	14.3	12.9	2.9	5.4	5.4	1.6	2.2	2.0	2.0	1.3	1.6	2.2	
70~74歳	11.5	11.5	12.2	10.8	17.2	10.8	2.7	6.5	5.8	2.7	1.4	1.4	1.2	1.5	1.0	1.7	
75歳以上	16.2	13.5	5.4	8.1	18.9	13.5	2.7	0.0	16.2	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	

- また、「子育て世代から選ばれるまちとなるため必要な取組」についても調査しましたところ、最も意見が多かったのは、「子どもに係る医療費の一部助成」であり、コロナ禍における健康維持と家計管理に関心が高まっていることが分かりました。

●子育て世代から選ばれるまちとなるため必要な取組			
学校におけるICT教育の推進	27.0%	独自プログラムによる学力向上	24.4%
一時的に子どもを預かる保育サービス	32.0%	民間の放課後児童クラブへの支援	21.6%
学校以外での新たな学びの場づくり応援	31.9%	小学校における給食費の無料化	31.0%
子どもの多い世帯への保育料や副食費の軽減・免除	23.8%	子どもに係る医療費の一部助成	43.5%
スマホのアプリなどを通じた子育て情報の発信	5.5%	その他	6.3%



- 学校におけるICT教育の推進
- 一時的に子どもを預かる保育サービス
- 学校以外での新たな学びの場づくり応援
- 子どもの多い世帯への保育料や副食費の軽減・免除
- スマホのアプリなどを通じた子育て情報の発信
- 独自プログラムによる学力向上
- 民間の放課後児童クラブへの支援
- 小学校における給食費の無料化
- 子どもに係る医療費の一部助成
- その他

調査項目③市政の満足度と重要度

満足度で最も高いのは「健診などを通じた個人の健康づくりの推進」重要度では「災害などに対する危機管理の体制」でした

- ・ 施策への満足度では、「伝統・歴史・文化の継承」の項目が去年から 0.01 ポイント下がり、「健診などを通じた個人の健康づくりの推進」と同率 1 位となりました。上位 3 施策は順位の変化こそあるものの、昨年度と同じ施策でした。4 位の「交通安全対策」（昨年度 9 位）と 5 位の「交通安全対策」（昨年度 29 位）は昨年度の順位から大きく上昇しました。また、昨年同率 3 位でした「自治会の維持や地域の見守り活動」は 0.08 ポイント下がり 6 位になりました。
- ・ 施策への重要度では、「災害などに対する危機管理の体制」「防犯対策」「交通安全対策」が同率 1 位となりました。2 年連続で 1 位だった「地域医療体制の充実」は、ポイントとしては上がったものの順位は 4 位となりました。また、全体的に大きく順位が入れ替わり、【安心・安全】の関連の施策が上位を占めることとなりました。新型コロナウイルス感染症や自然災害、世界情勢の影響が大きいものと考えられます。

順位	満足度の上位 5 施策（5 段階評価）	
1 位	伝統・歴史・文化の継承	3.36
		3.37(1)
1 位	健診などを通じた個人の健康づくりの推進	3.36
		3.36(2)
3 位	美しい景観の保全と創出	3.25
		3.29(3)
4 位	交通安全対策	3.22
		3.20(9)
5 位	自治会の維持や地域の見守り活動	3.21
		3.29(4)

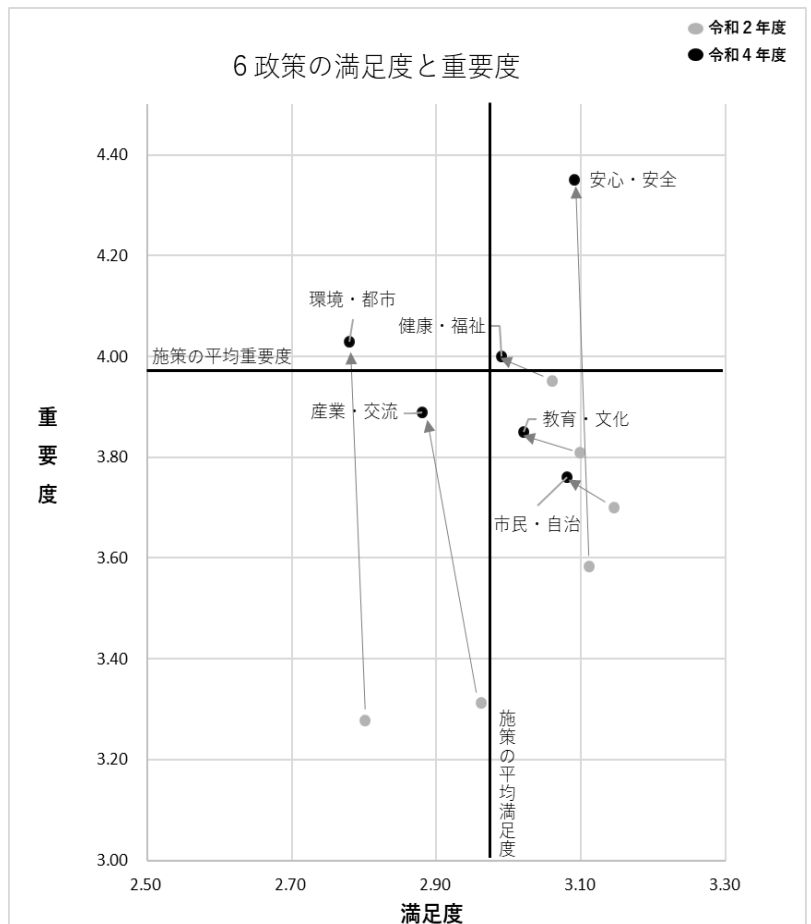
順位	重要度の上位 5 施策（5 段階評価）	
1 位	災害などに対する危機管理の体制	4.39
		3.57(29)
1 位	防犯対策	4.39
		3.63(26)
1 位	交通安全対策	4.39
		3.62(27)
4 位	地域医療体制の充実	4.29
		4.20(1)
5 位	地域による防災対策へのサポート	4.24
		3.52(34)

上段は令和 4 年度調査結果（N=1,095） 下段は令和 2 年度調査結果（N=1,320）と順位

調査を行った 58 施策について長浜市総合計画に掲げる 6 政策毎に満足度と重要度を平均したところ、全般的に満足度は低下しており、重要度は上昇していることがわかります。特に「安心・安全」と「環境・都市」、「産業・交流」については大きな上昇を見せており、市民の皆さまのニーズが大きく高まっていることがわかります。

「安心・安全」と「健康・福祉」は、「満足度」と「重要度」がともに平均値を上回っています。今後も引き続き取り組みが必要であることがわかります。

対して「産業・交流」はいずれも平均値を下回っております。一時的な下落である可能性もあるため、今後も調査を継続し、施策内容の検討を行う必要があります。

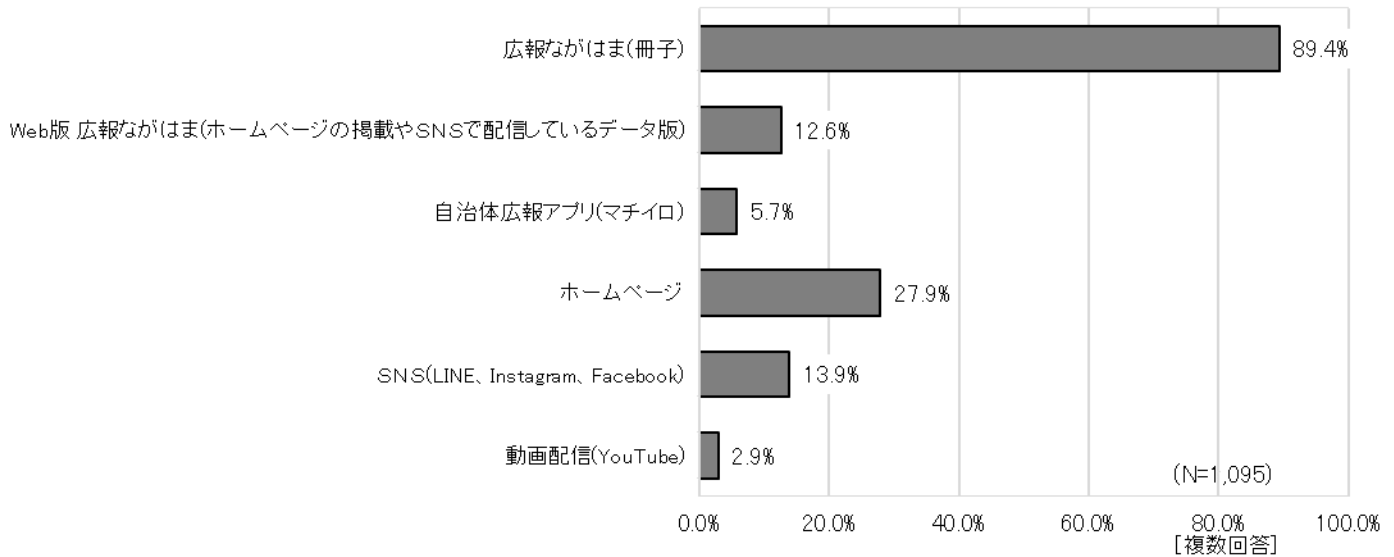


調査項目④

市からの情報発信について

市などからのお知らせやサービス、制度に関する情報を知っていただく手段として、利用する頻度が多いものは「広報ながはま（冊子）」でした

- ・ 「Web版広報ながはま」や「ホームページ」など電子上での情報発信手段が増えてきたものの、利用頻度としては「広報ながはま（冊子）」の割合が圧倒的に多く、89.4%を占めました。
- ・ SNSやホームページなどでの情報発信により、緊急性の高い情報や流動的に変化する情報を瞬時に受け取れるメリットがあります。また、開庁時間外であっても、情報を得たり、サービス等の申請や予約をしたりすることができます。



- ・ 行政サービスの向上と環境への配慮を推進していくため、情報発信するとともに、携帯電話やPC・スマートフォンの利用促進を図るなどの取組を引き続き検討してまいります。

調査項目⑤

選挙における投票場所について

選挙における投票環境について意見が最も多かったのは「どこの投票所でも投票できるようになり便利になった」でした

- ・ 令和4年2月24日の長浜市長選挙では、選挙における投票所の数を減らし、どこの投票所でも投票できるように見直す取組が行われました。これによる市民の皆さまの意見をお聞きしたところ「どこの投票所でも投票できるようになり便利になった」という意見がもっとも多く38.7%を占めました。
- ・ しかし、「投票所が遠くなり不便になった」という意見が4番目に多く11.0%を占めたほか、その他の意見として「交通の便が悪く行けない」「投票所が遠くなったので行かなかった」「車に乗れなくなったら行かない」などの意見がありました。
- ・ また、その他意見として「ネット投票」や「ペーパーレス化」を希望する意見が多く寄せられました。
- ・ これらの意見を課題として受け止め、より良い選挙投票の方法を引き続き検討してまいります。

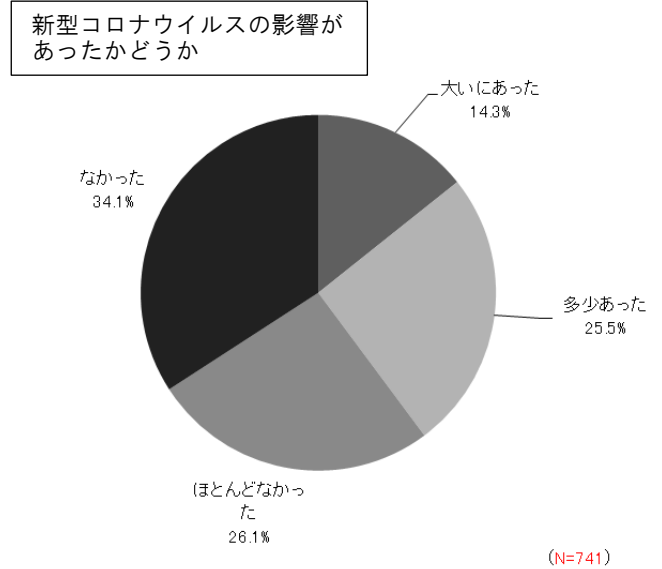
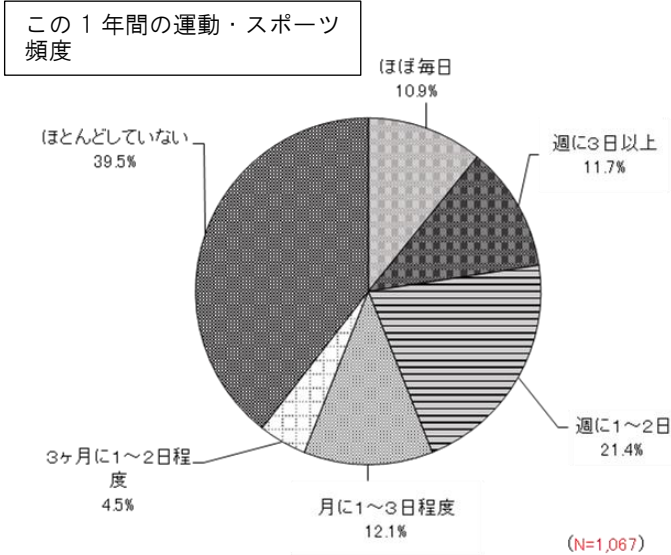
●特に進めていくべきと思うもの	
どこの投票所でも投票できるようになり便利になった	38.7%
投票環境（駐車場、バリアフリー等）の整った公共施設が投票所となり行きやすくなった	6.7%
近くの投票所に不満がある	1.9%
投票所が遠くなり不便になった	11.0%
共通投票所の数を増やしてほしい	6.4%
期日前投票所の数を増やしてほしい	12.9%
投票所に行く移動支援（バス・タクシー）を充実させてほしい	4.9%
特に何も思わない	14.3%
その他	3.3%

調査項目⑥

スポーツについて

この1年間で、運動やスポーツを「ほとんどしていない」と答えた人が最も多かった一方、新型コロナウイルスの影響という意見は最も少ない結果となりました

- この1年間で、運動やスポーツ（体操やストレッチなどの軽い運動を含みます。）をどのくらいの頻度で行ったかについて、「ほとんどしていない」（39.5%）がもっとも多く、次に「週に1～2日」（21.4%）が多かった。
- 運動やスポーツの頻度が低下した理由として新型コロナウイルスの影響があったかどうかについて、「なかった」「ほとんどなかった」が60.2%を占めています。



- お答えいただいた運動・スポーツの頻度の理由として、「仕事や家事が忙しいから」（36.5%）という意見がもっとも多く、運動やスポーツがしたくないということではなく、機会がなかなか得られないという現状が多いことがわかりました。
- また、運動やスポーツを行う手段として興味があるのはどれかという調査について、「身近なスポーツ施設で参加できるスポーツ教室」（35.5%）がもっとも多く“気軽に”参加できるような手段が望まれていることがわかりました。

